



党機関紙 第26号

「京都党」



- ◆トピックス◆
- 1面 ……署名提出のご報告
 - 2面 ……続・署名提出のご報告～提出時と記者会見の様子～
 - 3面 ……第2期京都党政治塾始まる！
 - 4面 ……コラム『宿泊税の導入が濃厚、財源の使途の議論が必要！』・京都党メンバーズ募集中

署名提出のご報告！

この度は、「皇室を京都へ！双京構想の実現に向けて！」について平成29年2月、3月に頂戴した署名は総数10,745筆となり、退位特例法が制定されるまで厳重に保管しておりました。平成29年6月9日の特例法成立を受け、同月16日、内閣総理大臣宛の署名を内閣府大臣官房の市川参事官へ提出してまいりました。報道も過熱気味で、私共としては譲位後のお住まいの選択肢として京都を入れていただき、ご検討いただきたい、また、もしも陛下がそうした思いをお持ちでいらっしゃるなら京都市民は心から歓迎申し上げたいという趣旨で集めた署名でしたが、一部、陛下を京都へ取り戻したいというような論調で報道されたところもあり、戸惑いもありました。しかし、この皆様の署名がきっかけで、全国的に京都を再認識していただく良いきっかけになったのではないかと思います。

議会での京都党の提言、市民ぐるみの署名活動を経て、門川市長もオール京都で上皇の京都長期滞在を具体的に検討し、国に答申を上げる方向で準備に入りました。

それに呼応するように奈良県知事からも「奈良に離宮を」と言うような展開に発展しています。こうして、皇室ゆかりの地がそれぞれ声を上げることで、当初の東京一択から複数の考え方、とりわけ京都もその候補のひとつという認識が広がったことが市民の素直な思いから動き出したことに意味があるのだと思います。

今後は、オール京都としての取組みへと大きな流れになりますが、我々は市民や有識者の声の取りまとめなど地域政党として出来る限りのバックアップを進めて参りたいと考えております。取り急ぎご報告と御礼まで。

地域政党京都党 代表

村山 祥栄



続・署名提出のご報告！

～記者会見と署名提出の様子～

署名提出の前日にあたる6月15日、京都市内のホテルで地域政党京都党が取り組んできた署名活動について記者会見を行いました。会見では村山代表から「京都にお帰り頂きたいという町衆の想いを形にする」という活動の趣旨説明ののち、今回同席いただいた、陛下の縁戚にあたる池坊保子元副文部科相、鎌倉時代の歌人、藤原定家の流れをくむ冷泉家当主夫人の冷泉貴実子氏、町衆代表として渡邊隆夫顧問のお三方から双京構想ならびに本件の活動に対する想いを語っていただきました。



記者会見の様子 平成29年6月15日



記者会見翌日、朝日・読売・毎日・産経・京都新聞の各紙面にも掲載されました。

京都での記者会見後、6月16日、村山代表と江村市会議員団長が内閣総理大臣宛ての署名を内閣府大臣官房の市川参事官へ提出してまいりました。提出後、参議院会館にて提出したことのご報告と活動の趣旨について両議員が記者会見を行いました。



川参事官へ提出 参議院会館にて



第2期京都党政治塾始まる！

京都党政治塾は2部制で、第1部は本気で政治に取り組む、将来的に取り組んでいく少数精鋭の塾生が参加、第2部からは聴講生も加わり、豪華講師陣による講話が行われます。



5月20日(土)第1回目

講師：元神奈川県知事 松沢成文先生
テーマ：『江戸城再建』

日本文化の成長戦略や民間資金の活用などの観点から、今の日本の文化政策や観光政策に何が必要かということについて講話いただきました。



松沢成文先生の講話の様子



6月17日(土)第2回目

講師1：荒川区議会議員 小坂英二先生
テーマ：『タブー無き議会改革シリーズ
①パチンコ利権をぶっ壊せ！』

行政や政治家との癒着が根強く、ギャンブル依存などの問題が洗い出されにくいパチンコ業界の裏側を解説いただき、共に解決策を探る機会となりました。



小坂英二先生の講話の様子

講師2：明石市長 泉房穂先生
テーマ：『人口減少に立ち向かうのは
難しくない！』

都道府県の中で晩婚化率ワースト2位、出生率ワースト3位という京都市にとって人口減少は喫緊の課題です。

「街づくりはマーケティングだ」との泉市長が明石市で実践する政策を余すことなくご講演頂きました。



泉房穂先生の講話の様子





『宿泊税導入が濃厚、 財源の使途の議論が必要！』

2016年4月に京都党から京都市に提言書を提出した「宿泊税導入」が実現に向けて大きく動いている。京都市の宿泊者数が約2000万人なので、100円ずつの課税と仮定して20億円程度の税収が見込める。

宿泊料金に応じて、もう少し課税すると想定されるので、実際には30～50億円規模になる。今後の議論で一番の肝は集まったこの財源を何に使うのか。京都市は、「文化の振興」「景観の保全・再生」「観光施策の充実」「京都の魅力の発信」などかなり抽象的で広範囲な使途を案として出している。納税者の納得感を考えると「無電柱化」や「石畳の整備」「観光地の美化」など、誰が見てもわかりやすい使途に限定すべきである。

京都党メンバーズ募集中

地域政党京都党は市民の皆さんが作る市民党です。

京都党では、党の綱領にご賛同いただき共に京都の未来を考えるメンバーを募集しています。

一人一人の力の結集こそが未来の京都を創る第一歩です。

参加ご希望の方は事務局までお問合せ下さい。心よりお待ち申し上げます。

【入会資格】

日本国籍を有する満18歳以上で、党綱領に賛同する個人の方(企業・団体は入会できません)

※政党活動および党支部の政治活動以外の目的に、個人情報を使用することはありません。

【入会に関して】

・会費 3,000円

※党メンバーズ資格期間は4年間、初年度はお申込み手続きが完了した日から3年後の12月31日迄です。

・退会の意思を表明しない限り、原則として4年ごとに更新となります。

・会費は、各支部へ直接お持ちいただくか、
又は下記金融機関をご利用ください。

各議員の日々の活動や動画などを随時更新
発信しております。
ぜひアクセスしてみてください！！

地域政党 京都党

〒606-0813京都市左京区下鴨貴船町46

TEL 075-712-9977

FAX 075-712-9963

MAIL jimu@kyoto-party.com

地域政党京都党ホームページ<http://www.kyoto-party.com/>

京都党議員団ホームページ<http://www.kyoto-to.com/>

